

1. 履修について

3 年次からは特別演習（いわゆる「ゼミ」）以外は、すべて自由に選択でき、専攻語科目演習と専攻科目講義・演習から最低 44 単位取得します（以前のバージョンでは 48 単位と記載していましたが間違いです）。ただし、それぞれの区分での最低取得単位数などの制約がありますので、学生便覧をよく読んで、履修登録してください。また、単位は卒業要件単位数ギリギリではなく、余分を取るようにしましょう。卒業要件最低単位数ギリギリで卒業できるものと思っていたのに、取得できなかったケースが散見されます。履修登録、単位取得状況は個人の責任のもとに管理を行ってください。履修登録期限などはたえず KOAN などで確認をして、分からないことは教務課に質問をしに行ってください。

1.1 専攻語科目演習

- 専攻語科目演習からは卒業までに最低 8 単位取得する必要があります。
- 講読は Ia,b と IIa,b (A・B クラス) がありますので、自由に選んでください。
- 作文は IVa,b です。ただしスウェーデン語専攻については、4 年後期に VIIIb (卒論の要約を書くためのコース) があります。
- 会話は Va,b (standard), VIa,b (intermediate), VIIa,b (advanced) の 3 つのレベルのクラスがあります。受講可能なクラスについてはメールでお知らせいたします。
- 専攻語の授業はどの科目も原則 8 割以上の出席を単位取得の最低条件とします。半期科目は 4 回以上欠席すると自動的に単位取得は不可能になります。欠席の連絡は必ずしてください（事前が最善ですが、事後は速やかに連絡すること）。病気、忌引き、その他、特別な事情の場合はその旨を知らせ、必要であれば個々に相談して下さい。また遅刻は 20 分までを遅刻扱い、それ以上の遅刻は欠席扱いとなります。クラブやサークルの活動による欠席が公休扱いとなることはありません。
- 各授業の成績はその授業の担当教員によって個々に評価が与えられます。履修している授業の試験などの結果は個人で責任を持って管理に当たること。教員が他の教員の成績に対して、干渉、仲介はしません。
- 留学の応募にあたって教員からの推薦状が必要な場合がありますが、1・2 年生の専攻語実習のいずれかの授業で一度でも C 以下の成績をとった人に対しては、原則的に教員は推薦状を書くことができません。

1.2 専攻科目講義・演習

- 専攻科目講義・演習からは卒業までに最低 16 単位取得する必要があります。
- 特別演習（いわゆる「ゼミ」）は原則 2 年間履修してください。
- 以下の科目は重複（2 回）履修することはできません。
北欧文化講義 I a,b, 北欧文化講義 II a,b (→2 年次に北欧史概説 a,b の単位を取得した者は履修できない), 現代デンマーク語演習 a,b, 現代スウェーデン語演習 a,b, 北欧語学演習 I a,b, 北欧語学演習 III a,b, 北欧文学演習 I a,b, 北欧文化演習 I a,b
- 以下の授業の秋～冬学期の履修は春～夏学期の単位を取得しているかそれと同等の能力を有していることが前提条件となります。
現代スウェーデン語演習 a,b, 現代デンマーク語演習 a,b, 北欧語学演習 I a,b, 北欧語学演習 II a,b, 北欧語学演習 III a,b
- 専攻科目講義・演習の出席や成績なども、専攻語科目に準じます。

2. 連絡などについて

- 欠席連絡, その他の連絡は各教員の大学メールアドレスへ送ってください。その際, **メールの件名には必ず学年と名前**を記すこと。件名が空白の場合, 不審メールとして削除される可能性があります。
- 教員や大学から **KOAN に登録されているメールアドレス宛**に連絡をとることがあります。個人のメールアドレスを変更した場合には必ず変更手続きをしてください。また, 学生に与えられる阪大のメールアドレス (u から始まる数字6桁&アルファベット) に連絡を送信する場合があります。こちらのメールアドレスも頻繁にチェックすること。
- 教員の押印を必要とする書類, あるいは教員の名前をコンタクトパーソンとして書くような書類などについては, **必ずその写しを当該教員に提出すること**。
- 3・4年生時に就職活動をしながら学業を遂行することは大変だと思いますが, **就職活動がすべてに優先するわけではありません**。研究室としては出来る限り就職活動を支援していきますが, 欠席が4回を越える場合, 面接などで遅刻や欠席がやむ得ない場合も, 必ず各担当の教員に連絡をとり, 許可を得てください。また**就職活動で欠席する場合, 所定の欠席届を提出してください**。